西村証券 企業調査速報

2024/12/20

［金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第26号：加入協会‥日本証券業協会］

宝ホールディングス（コード 2531）

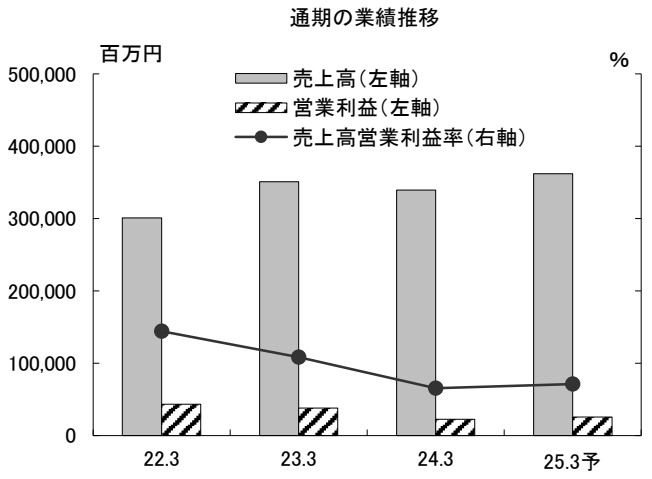
◆各決算期の中間期業績推移(連結)

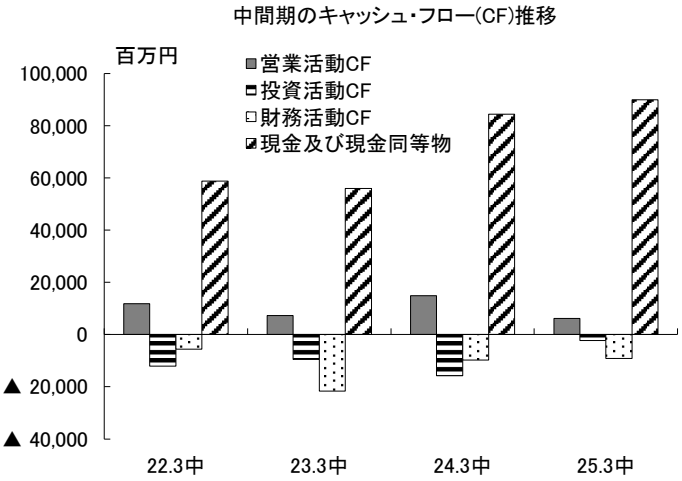
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	141,213	21,616	50.8	－	11,798	▲12,066	▲5,620	58,775
23.3	164,279	19,614	55.0	－	7,231	▲9,553	▲21,625	55,991
24.3	163,172	12,464	40.7	－	14,922	▲15,796	▲9,711	84,446
25.3	176,539	10,532	46.6	－	6,207	▲2,313	▲9,136	89,929

◆通期業績推移(連結)（25.3 予は会社側発表値）

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	300,918	43,354	105.1	37.0	16,376	▲10,399	4,133	75,729
23.3	350,665	37,945	107.3	38.0	45,478	▲10,474	▲22,215	91,785
24.3	339,372	22,242	82.1	29.0	29,178	▲19,993	▲13,448	90,184
25.3予	362,000	25,700	88.1	31.0	－	－	－	－

（CF＝ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円）





25 年 3 月期中間期の業績概況…25 年 3 月期の中間期（24 年 4～9 月）は、宝酒造インターナショナルグループが増収増益となった一方、宝酒造及びタカラバイオグループが増収減益となったことから、連結全体の売上高は前年同期に比べて約 8%増、営業利益は約 16%減となった。

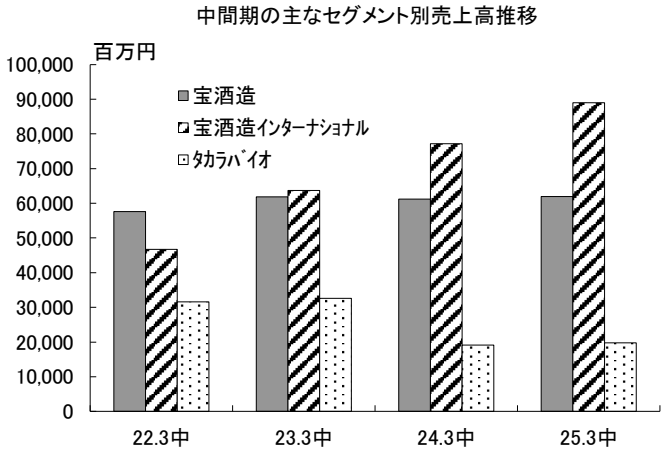
当期の業績は、売上高 1,765 億 3,900 万円（前年同期比 8.2%増）、営業利益 105 億 3,200 万円（同 15.5%減）、経常利益 111 億 6,600 万円（同 14.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益（以下、中間純利益）90 億 8,800 万円（同 13.0%増）で、特別利益に固定資産及び投資有価証券の売却益（合計約 28 億円）を計上したことなどから、中間純利益は増益となった。

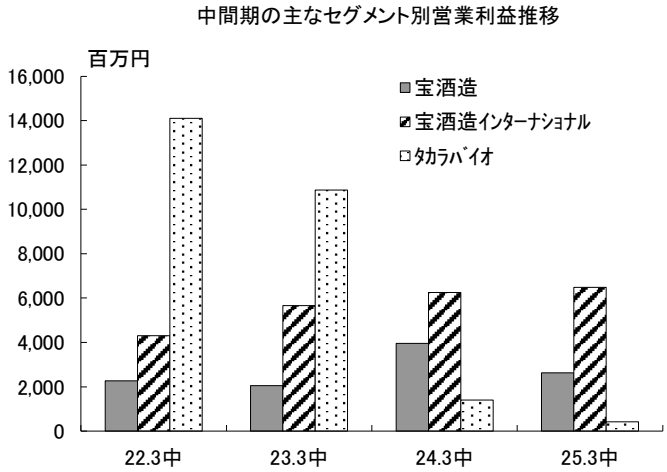
主なセグメント別の売上高及び営業利益は、宝酒造が売上高 619 億 8,000 万円（同 1.3%増）、営業利益 26 億 2,300 万円（同 33.6%減）、宝酒造インターナショナルグループが売上高 889 億 7,900 万円（同 15.3%増）、営業利益 64 億 8,800 万円（同 3.7%増）、タカラバイオグループが売上高 197 億 5,800 万円（同 3.4%増）、営業利益 4 億 1,700 万円（同 70.4%減）となった。

セグメント別では、海外食材卸などを展開する宝酒造インターナショナルグループが好調に推移。海外酒類事業においては、ウイスキー、清酒が伸長し、売上高 112 億 1,300 万円（同 9.3%増）、営業利益 30 億 400 万円（同 7.1%増）に。また、海外日本食材卸事業においては、欧米などの個人消費減速の影響を受けたものの、新規顧客獲得や顧客ニーズに即した商品調達への取り

組みなどにより、売上高 790 億 7,900 万円（同 16.1%増）、営業利益 48 億 6,700 万円（同 3.3%増）に拡大した。

宝酒造では、焼酎や清酒が売上を落としたものの、ソフトアルコール飲料や本みりんが好調に推移し、増収となったが、原材料価格の上昇や運送費及び広告宣伝費の増加などにより減益となった。タカラバイオグループでは、試薬、機器、遺伝子医療が堅調に推移した一方、相対的に利益率の高い検査関連試薬の減収や売上構成の変化の影響などにより、増収減益となった。





キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末の現金及び現金同等物残高は 899 億 2,900 万円（前年同期末比 6.5%増）となった。営業活動による CF は、税金等調整前中間純利益 137 億 1,800 万円（前年同期比 5.7%増）、棚卸資産の増加額 13 億 3,900 万円（前年同期は減少額 16 億 6,300 万円）、未払酒税の減少額 16 億 300 万円（同増加額 34 億 5,800 万円）、法人税等の支払額 23 億 2,200 万円（前年同期比 30.0%減）などにより、62 億 700 万円の収入（同 58.4%減）となった。投資活動による CF は、有形及び無形固定資産の取得による支出 58 億 3,800 万円（同 59.8%減）、投資有価証券の売却による収入 27 億 9,000 万円（前年同期は 3,100 万円）などにより、23 億 1,300 万円の支出（前年同期比 85.4%減）となった。財務活動による CF は、配当金の支払額 56 億 5,400 万円（同 24.6%減）、長期借入金の返済による支出 51 億 6,300 万円（前年同期は 4,000 万円）、社債の償還による支出 50 億円（同無し）、コマーシャル・ペーパーの発行による収入 80 億円（同無し）などにより、91 億 3,600 万円の支出（前年同期比 5.9%減）となった。

25 年 3 月期の通期業績見通し…25 年 3 月期の通期業績については、24 年 5 月 10 日付けの会社側発表値から変更は無い。売上高 3,620 億円（前期比 6.7%増）、営業利益 257 億円（同 15.5%増）、経常利益 263 億円（同 12.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 172 億円（同 6.3%増）の見通しで、1 株当たりの年間配当金は 31 円（前期実績比 2 円増）の予定。

主なセグメント別の売上高及び営業利益予想では、宝酒造が売上高 1,223 億 7,300 万円（前期比 1.1%減）、営業利益 57 億 3,100 万円（同 4.1%増）。宝酒造インターナショナルグループが売上高 1,790 億円（同 11.6%増）、営業利益 137 億 5,000 万円（同 11.9%増）。タカラバイオグループが売上高 489 億円（同 12.4%増）、営業利益 50 億円（同 66.5%増）となっている。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。